

調査特別委員長報告

3月14日の本会議において、調査特別委員会（大都市税財政・地方創生対策特別委員会、都市活性化対策特別委員会、安心社会づくり対策特別委員会）の各委員長から、これまでの調査・研究の概要について報告がありました。
なお、紙面の都合上、委員の意見を中心に掲載しています。

大都市税財政・地方創生対策特別委員長報告



本会議で報告する
山路英男委員長

各調査項目に対する委員の意見は次のとおりです。

①大都市税財政制度の充実強化
 (1)指定都市の国の施策及び予算に関する提案
 ▼感染症対策に関する事務・権限の移譲について、本市において、市域を対象とした新型コロナウイルス

ナウイラス対策を講じられるよう力を込めて提案してほしい。
 ▼国と地方間の税財源配分の是正を進めるため、それぞれの役割分担を明確化した上で、具体的な提案を行ってほしい。
 (2)大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望
 ▼人口減少により社会状況が大きく変わろうとしている中、要望し続けても実現しないものについては、指定都市市長会の中で本市がリーダーシップを取って国との折衝の在り方を見直すなど、新たな対応に取り組んでほしい。
 ▼税源配分の見直しに当たっては、国会議員に地方の現状をしっかりと見極めてもらって、より協力してもらえ体制を作るべきではないか。
 (3)主要事業に関する国への要望
 ▼黒い雨体験者の支援について、国が設置した検討会で検証が進められているが、黒い雨体験者の高齢化が進んでいることを踏まえ、国に対して早期に結論が出されるよう強い姿勢で臨む必要があるのではないかと。実際に災害に遭われた人たちが住宅を再建するということが要るのではないかと。
 (4)党派別要望に係る広島市個別要望事項
 本市の主要事業に関する国への要望事項を次のとおり選定しました。

②地方分権の推進
 ▼農林水産業を営む者が行う野外焼却に関する廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び同法施行令並びに関連通知の解釈の明確化について、周辺の市町も抱えている課題であり、市町で取扱いが異なることがないよう、国へ提案し、農業を営む環境づくりを行ってほしい。
 ▼国が提案を認めなかったことで断念するのではなく、アプローチの方法を変えながら取り組んでほしい。
 ▼市民サービス向上のため、積極的に提案を行い、制度の改善に努めてほしい。
③地方創生への取組
 ▼男性が仕事、女性が家庭、男性が主、女性が従であるなど固定的な役割分担意識にとらわれないよう男女共同参画社会の実現に向け取り組んでほしい。

④効果的・効率的な行政の推進
 ▼行政手続に対する審査等へのAIの活用について、審査結果に問題がなかったかどうかチェックする仕組みを設け、厳正に判断が行われたかどうか、最終的には責任のあるところで判断できるようにしておく必要がある。
 ▼国の自治体DX推進計画では、国の主導により全国の自治体が足並みをそろえて推進するというものになっているが、各自治体がどのようにデジタル化を進めていくかというのは、それぞれの実情に応じて独自に判断して進めるべきではないかと。DXの推進により市民生活の質の向上と、本市の魅力を高めていくことが可能となるので、しっかりと取り組んでほしい。

本特別委員会で調査・研究した項目は、少子高齢化や人口減少により生じる様々な課題に的確に対応した真の分権型社会の実現や地方創生の取組と、デジタル化により既存の制度等を変革していくデジタル・トランスフォーメーションを推進していく上で、非常に重要な課題です。
 委員各位の貴重な意見を真摯



委員長	山路英男	近松里子
副委員長	伊藤昭善	水野考
委員	宮崎誠克	川村真治
	西田浩	大野耕平
	母谷龍典	竹田康律
	中森辰一	谷口修
	金子和彦	若林新三
	中本弘	児玉光禎

都市活性化対策特別委員長報告



本会議で報告する
碓氷芳雄委員長

各調査項目に対する委員の意見は次のとおりです。

(1)中央公園内の公共施設の集約

しい。
 ▼中央図書館のエルエルA館への移転によって、今後、広島市の負担や広島駅南口開発株式会社等へ与える影響がどうなるか、しっかりと市民の皆さんに理解していただくことが大切ではないか。
 ▼中央図書館の移転に当たっては、広く市民、県民が利用していただけのような、広島広域都市圏の図書館としてふさわしいものにしてほしい。
 ▼子どもが利用する施設の整備に当たっては、子育て世代、特に子どもたちの意見を最大限に尊重してほしい。

施設の機能が重複しないよう整理し、子どもが楽しめる空間を整備してほしい。
 ▼中央公園内の公共施設の集約化については、旧市民球場跡地やサッカースタジアムなど都市開発の進捗に合わせ、複合的に進めることで大きな成果が出せると思うので、統一した整備時期の目標を定め、ヒト・モノ・カネの計画を立てて、地域や民間事業者の支援をいただきながら、できるだけ早く進めてほしい。
 ▼子ども図書館、子ども文化科学館、青少年センターの三つの施設を集約することは無理があるので、子ども図書館を単独の施設とすることなどを改めてしっかりと議論して方針を決めてほしい。

▼バス事業への上下分離方式の導入に当たっては、事業者間の収益状況の違いについて、原因を分析した上で必要な支援を行うよう検討してほしい。
 ▼持続性の高い新たな公共交通体系の構築に当たっては、延伸されるアストラムラインを含めて検討してほしい。
 ▼持続性の高い新たな公共交通体系の構築については、バス事業への上下分離方式の導入に限らず、AI技術の進歩などによる交通形態の変化を見据え、しっかりと検討してほしい。
 ▼乗合バス事業の共同運営システムの構築
 ▼高齢社会において重要な役割を果たす公共交通に対し支援することは賛成であるが、本市が

たつては、新しい生活様式に対応した事業環境の整備などについて融資ではなく補助事業として進めるとともに、統計上の数字に表れない苦しみを持つ事業者の声を聴き、事業に反映させてほしい。

本特別委員会で調査・研究した項目は、高齢化の急速な進展や人口減少に直面する中、持続的に都市の活力を維持・向上させ、中四国地方の中核都市にふさわしい都市機能の集積・強化や利便性の高い公共交通ネットワークの構築、アフターコロナを見据えた観光振興・中小企業の活性化など、活力や魅力にあふれ、にぎわいのあるまちづくりを進めていく上で、非常に重